

2021



Vol. 57

社会福祉法人すこやか福祉会

発行日: 2021 年 8 月 1 日 第 57 号

本部事務局 住所: 〒120-0023

東京都足立区千住曙町 4-16

TEL: 03-5813-9251

住みなれたまちで

社会福祉法人 すこやか福祉会 理事長交代のお知らせ

11 年間にわたり社会福祉法人すこやか福祉会の理事長を務めてまいりました中山 美千代は、2021 年 6 月 28 日付けをもって退任し、藤井 博之が新理事長に就任しましたので、お知らせ致します。

理事長就任のご挨拶

新理事長 藤井 博之



すこやか福祉会は、現場の職員が優れた姿勢と理念と技術を備えておられることと、経営幹部の優れた創意工夫に、かねてから注目してきました。皆さんの一員として働けることはとても光栄です。

私は、東京生まれで流山育ち、10 代からは東京の下町と「葛飾の国」を行き来して暮らしてきました。生まれ育った地域社会に貢献したいとわくわくしています。同時に、社会福祉法人というはじめての職場で重い責任のある立場につくことに、どきどきしています。

1984 年から 2011 年まで健和会の、みさと健和病院、みさと健和団地診療所、まちかどひろばクリニック、柳原リハビリテーション病院、ほか 5 つの病院・診療所で、臨床医として働き、鍛えていただきました。その後、千住介護福祉専門学校、佐久総合病院(長野県)、日本福祉大学(愛知県)を経て、2021 年 4 月から長野大学(長野県)で社会福祉学部の教員をしております。

毎週、新幹線で移動しながら、都市と地方・地域と地域がいかに関係するか、考えてきました。また、地域福祉に携わる方々と一緒に、地域福祉と地域医療の重なり合いを強く意識するようになりました。

地域社会と地域社会の保健、医療、福祉、保育、さらに教育や行政などの分野が、境界を越えて連帯する社会をどう作っていくかが、私の最大の関心事です。何卒よろしくお願いします。

理事長退任のご挨拶

副理事長 中山 美千代

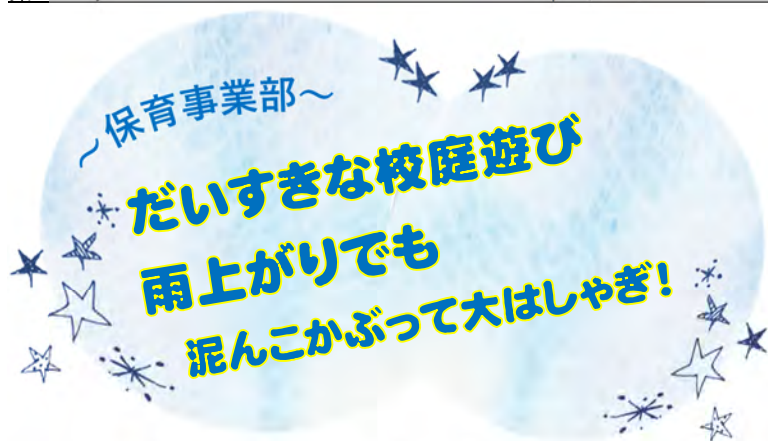


11 年間頼りない理事長を支えていただいたすこやか福祉会の職員の皆様、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

振り返ってみても思い出す出来事が出てこず、楽しくデイサービスの看護師業務に専念していたからか、理事長として任務を果たしてきたか今でも語る自信がありません。理事長、やすらぎの施設長、介護事業部長、看護部責任者など一度に兼任していた時もありましたが、介護事業は介護職員が主体的に事業運営をしていったほうが良いという考えで、エリア制になりました。現在一定の目標は達成したように思います。

さらに介護職のみで会議を開催し、決定する集団となり頼もしい限りです。

これからも私たちの理念を追求し成長しあえる仲間の一人として今後ともよろしくお願いいたします。



八潮市立おおぜ学童保育所には、そら組 43 名・うみ組 44 名、計 87 名の子ども達が毎日元気に登所しています。おやつ・宿題が終わった後は、自由遊びの時間。おおぜ学童は大瀬小学校の校庭内にあるので、天気の良い日は校庭に出て遊ぶことができます。広い校庭で子ども達は、サッカー・バスケットボール・ドッジボール・一輪車・虫取り・砂場遊び・鬼ごっこなど、思いっきり体を動かしてのびのびと遊んでいます。

今一番人気は一輪車。3 年生の男の子が一人で一輪車に乗っている姿を見て、1 年生の女の子達も 4 月から毎日コツコツと練習をし、今ではほとんどの子が一人で一輪車に乗れるようになりました。何回転んでも諦めずに練習を続けてきた成果に、子ども達も自信をつけているようです。「次は、空中乗りの練習する」と頑張っています。

サッカーは、3 年生の男の子達が中心になって毎日ゲームをしています。1 年生も一緒に汗を流しながら楽しんでます。先日、一緒にサッカーをした時には体力の心配をしてくれたり、シュートを決めた時には一緒に喜んでくれたりと、子ども達の優しい一面を近くで感じることができました。雨上がり後の砂場は、子ども達にとって一番魅力的な場所になります。普段なかなかできない泥んこ遊びが子ども達は大好きで、全身泥だらけになって楽しんでいます。



七夕制作では、大きな笹に自分達で作った飾りや短冊を飾りました。短冊には「早くコロナがなくなって、みんなニコニコさせますように」「じっちゃん、ばっちゃんが長生きしますように」など、子ども達の願いが書かれていました。

今年の夏も熱中症等に気を付けながら、子ども達にたくさんの楽しい遊びを経験させてあげたいと思います。

おおぜ学童保育所 日吉 理恵



毎年恒例！皆さんからの作品をお待ちしています！！

みんなで参加（施設・団体）、一人で参加、地域の方も大歓迎！商品もお楽しみに！

【スケジュール】 締め切り 9/24(金) 投票 10/29(金) 発表 1/4(木)

【お問い合わせ連絡先】 葛飾やすらぎの郷（すこやか福祉会を支援する会） TEL:03-5648-8250

社会福祉法人すこやか福祉会 2020年度 決算報告

(自) 2020年4月1日 (至) 2021年3月31日

○貸借対照表(資産の状況)

単位：千円

科 目	今年度末	前年度末	増減額
資 産	4,026,299	4,015,977	10,322
負 債	1,435,395	1,443,894	▲8,499
純資産	2,590,903	2,572,083	▲18,821

○資金収支計算書

単位：千円

科 目	予算	決算	差異
事業活動収入	3,406,751	3,998,466	8,284
事業活動支出	3,321,177	3,256,796	▲35,618
事業活動収支差額	185,573	141,671	43,903
施設整備等収入	14,749	14,749	0
施設整備等支出	99,894	99,894	0
施設整備収支差額	▲85,145	▲85,145	0
その他活動収入	50,370	50,370	0
その他活動支出	97,735	97,735	0
その他収支差額	▲47,369	▲47,369	0
当期資金収支差額	53,064	9,162	43,903
前期末資金残高	647,634	647,634	0
当期末資金残高	700,698	656,796	43,903

○事業活動計算書

単位：千円

科 目	当年度	前年度	増減額
サービス活動収益	3,384,193	3,432,153	▲47,960
サービス活動費用	3,297,453	3,431,055	▲133,602
サービス活動増減差額	86,740	1,098	85,642
サービス活動外収益	▲7,588	14,215	▲21,804
サービス活動外費用	9,110	10,798	▲1,688
サービス活動外差額	▲16,699	3,417	▲20,116
経常増減差額	70,041	4,515	65,526
特別収益	14,669	1,920	12,748
特別費用	19,768	3,865	15,903
特別増減差額	▲5,100	▲1,945	▲3,155
当期増減差額	64,942	2,570	62,371

○貸借対照表(資産の状況)

2020年度末の現預金残高は約4億1700万円で前年度末よりも約3700万円増加し、サービス活動費用合計からみた現預金残高の月商倍率(現預金対事業活動支出比率)は1.52倍となり、2019年度末の1.33倍より0.19増加しました。

短期的な支払能力指標の流動比率(流動資産÷流動負債)は260%でした。

資産合計から負債合計を除いた差引純資産が前年度より約1900万円増加し、25億9000万円となりました。

○資金収支計算書

予算は年度末に確認した補正予算のため、決算との差額はほとんどないのですが、2020年度は事業活動収入で830万円の差異が生じました。

日常の事業活動に関わる事業活動資金収支差額は2019年度よりも約2800万円増加し約1億4200万円となりました。

当期末支払資金残高は前年度6億4800万円より約900万円増加し、6億5700万円となりました。

○事業活動計算書

サービス活動収益はコロナ禍による利用控えや一部閉鎖した事業所があり、4800万円減少しましたが、サービス活動費用は人材確保が困難な影響などがあったため1億3400万円減少しました。

2019年度の人件費率(サービス活動収益比)は75.0%で2019年度の76.5%と比較すると1.5ポイント減少しています。前年度に引き続き、職員離職率は全国平均よりも低い傾向にあり、2020年度は介護系常勤で5.9%、保育常勤で1.8%、法人全体では5.0%でした。

当期活動増減差額で6期連続の黒字で+6500万となり、2019年度よりも6200万円大幅に増加しました。すこやか福祉会は、新たな運営体制で今年度から第2次5カ年計画(AreaMovement2025)に取り組みます。新たな計画を進めていく中で、「安心して住みなれた地域に住みつづけること」を追求していきます。引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

すこやか福祉会常務理事 菊地雅彦



【葛飾エリア】 チームワークと職員の成長を 感じた出来事

葛飾エリアマネジャー

江川 慎吾

昨年度から、日本中、世界中が、新型コロナウイルスへの対応に追われ、今現在も対応が続いています。コロナウイルス感染者が発生した事例もありましたが、被害を最小限に抑えることが出来ました。すこやか福祉会の全職員が新型コロナウイルス感染予防対策を理解して、利用者、職場、自分自身を守ったからこそ、今があると思います。この場を借りて、職員の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございます。

そんなコロナ禍で、職員のチームワークを感じた事と新人職員の成長を感じるエピソードがありましたので、ご紹介させていただきます。あるデイサービスで、コロナ陽性者が発生した際、数日間営業を休止しました。その際、職員同士で協力し、問題解決に向けて一致団結出来たからこそ、最短期間で営業を再開することが出来ました。その時のデイの所長の一言が印象的でした。『職員一人ひとりの日頃の感染対策が出来ていたからこそ、最短で営業再開することが出来ました』と語っていました。この言葉は所長が日頃から事業所職員をひとつのチームに作り上げてきたからこそ、語れた言葉だと思います。良い職場環境と職場作りは、短期間で作れるものではありません。職員のチームワークは葛飾エリアの宝だと感じました。

もう一つは新人職員の成長です。グループホームはこの間、面会中止、外出自粛、イベントの中止等で、施設内に入居者の方がとどまらなくてはいけない状況が続いています。

そんな中迎えた、新人介護職員の支援で気づかされました。2年目の職員は夕食を終えて、就寝支援をする前に『風も気持ちいいので、中庭に出しましょう』と入居者数名に声をかけました。



夕暮れ時に中庭に出て、『あつちは、柴又で、向こうが青砥駅ですよ』と談笑する姿は、コロナ禍で外出できない入居者のことを思っの素晴らしい支援でした。その時の入居者の方と職員の表情は、初夏の風にあたりながら充実した笑顔に見えました。2年目を迎えた職員の成長を誇らしく感じました。

新任所長 ご挨拶



ファミリーケア船堀
所長 山本 ゆかり

4月からファミリーケア船堀の所長となりました山本ゆかりです。2019年にファミリーケア新小岩とファミリーケア葛西が合同となり、今のファミリーケア船堀となりました。

私は2012年にファミリーケア葛西に非常勤として入職しました。それまでは、直行直帰の訪問介護事業所に非常勤として働いていました。直行直帰の訪問では、ご利用者様の情報をあまり知らずに訪問することが多く、これで良いのかな？ みんなはどうしているだろう？などケアに関して悩むことが多くありました。しかしファミリーケアは職員同士で情報共有し、分からないところは聞き教えあう、1人のご利用者様をみんなで支えるチームケアです。一人で悩むこともなく相談できるところがあり、安心して訪問することが出来ました。

今は2つの事業所がファミリーケア船堀となり3年目になりました。新小岩でのスローガン《ひとりじゃない 仲間がいる みんなで支えあう職場》と葛西でのスローガン《ご利用者様ひとりひとりに優しい笑顔と介護の手を届けていきたい》を心にとめ、職員の皆さんが安心してご利用者様に関わることができる職場と元気な挨拶と労いの言葉でお互いの事も思いあえる温かい職場で在り続けれるよう頑張りたいと思います。

入職してから今までいろいろと教えて下さった所長方を見習い、これからたくさんの事を学んでいきたいと思いますので、これから宜しくお願い致します。

